

北区地域福祉計画 令和5年度の成果と今後の課題

取り組みの柱  <h2 style="text-align: center;">2. “きめの細かい” 相談・支援の充実</h2>	将来イメージ ・包括的な相談支援体制が進められている。 ・区内で福祉的な活動が増えている。 ・虐待防止や判断能力が不十分な人への対応が進んでいる。 ・子育て世帯や子ども・青少年が暮らしやすい取り組みが進んでいる。
---	--

①相談支援体制の充実	取り組み主体	・北区役所・北区社会福祉協議会
第2期計画の主な取り組み	成果	課題と方向性
	令和4年度	令和4年度
	令和5年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSW、SSWの配置、包括的な支援の充実。スキルアップと新たなネットワーク形成</li> <li>・地域福祉コーディネーターの配置を継続し、身近な相談窓口機能の強化を進める</li> <li>・制度の狭間や複合的な課題を抱えた人や世帯等の包括的な支援を関係機関等と連携のもと進める</li> <li>・支援が必要な当事者へ情報を届け、支援に必要な情報が多くの区民に行き届く取り組みを強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SSWを配置し不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりを充実した【継続配置】 配置4名計60時間/週 支援のべ児童生徒数 1,667人(小学校 1,051人、中学校 616人)</li> <li>○こどもサポートネット事業において学校と区役所が連携し、SSW、こどもサポート推進員による支援を行い、教育面だけではなく福祉面についての支援の検討を行った【継続実施】 検討会議37回、245ケース</li> <li>○区役所福祉課内の情報共有のため、チームサイトで職員のスキルアップを図った</li> <li>○「重大な児童虐待ゼロ」をめざし、プレスクールワーカーによる保育施設へのアウトリーチ事業を実施し、施設職員が抱える課題や悩みに対し、アドバイスをを行うことで施設職員のスキルアップを図った【継続実施】 相談件数345件 園内研修16回</li> <li>○新規開設保育施設職員を対象に、「大阪市北区における要保護児童対策地域協議会のしくみと保育園の役割」を開催し、北区の子育て支援事業の周知や虐待対応の基礎知識の啓発を行った【継続実施】</li> <li>○子育て支援ルームKikki（キッキ）を開室し、相談員1名を配置した。子育てに不安や悩みを持つ保護者の支援を行った【新規事業】 新規利用組数 494組 のべ利用組数2,490組 のべ利用人数5,186名 のべ相談件数2,080件</li> <li>○北区障がい者自立支援協議会、子ども部会において、SSWの活動紹介及び学齢期の子ども達の支援における課題の共有を行い、顔の見える関係づくりに努めた【新規取組】 (R4.11月実施)</li> <li>○総合相談窓口（つながる場）を積極的に開催し、支援困難ケースの関係機関との情報共有及び解決への糸口を探った</li> <li>○北区地域子育て連絡会を3年ぶりに開会し、身近な地域での出張相談会の実施に向けた具体的な検討に着手した【再開事業】 (R4.6、R5.2実施)</li> <li>○保健師が保育園、幼稚園等や家庭を訪問し、健康教育や子育て相談、生活習慣を身につけるための絵本を配付する4歳児訪問事業で、4歳児全児童の状況把握に努めた【継続実施】 絵本配布数 997冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○CSW・地域福祉コーディネーターを継続配置し、相談窓口やきめ細かな支援の充実</li> <li>○SSWとプレスクールワーカーの継続配置を行い、学校生活や子どもの課題に対する早期発見による支援の充実</li> <li>○課題のある子どもの早期発見</li> <li>○福祉専門職などと連携したアウトリーチの強化</li> <li>○様々な相談窓口の周知（高齢者、子育て支援、障がい者自立支援、生活困窮者など）</li> <li>○マンションの多目的室などを活用したコミュニティサロン活動の推進</li> <li>○広報紙、SNS等での情報発信の検討・実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>令和4年6月 付帯決議</b>                      社会的孤立を少しでも解消するためには、行政や福祉施設・専門機関等の多職種連携と、公助（行政・専門職）と地域住民の皆さんが連携協働して取り組む地域協働を進めること</p> </div>
取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SSWを配置し不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりを充実した 配置4名計94時間/週 支援のべ児童生徒数 1,186人(小学校 702人、中学校 484人)</li> <li>○こどもサポートネット事業において学校と区役所が連携し、SSW、こどもサポート推進員による支援を行い、教育面だけではなく福祉面についての支援の検討を行った【継続実施】 検討会議 21回、 176ケース</li> <li>○「重大な児童虐待ゼロ」をめざし、プレスクールワーカーによる保育施設へのアウトリーチ事業を実施し、施設職員が抱える課題や悩みに対し、アドバイスをを行うことで施設職員のスキルアップを図った【継続実施】 相談件数 419件 園内研修 23回</li> <li>○保育施設職員を対象に、「子ども虐待の現状と対応」を開催し、虐待対応にかかる認識の共有化を図った【継続実施】</li> <li>○北区地域子育て連絡会を開催するとともに、身近な地域での「出張イベント、相談会」を開催した【継続実施】 会議開催2回 出張イベント6地域 6回</li> <li>○CSWの配置、包括的な支援の充実。スキルアップと新たなネットワーク形成</li> <li>○地域福祉コーディネーターや地域福祉関係者により発見力・見守り力の強化、連絡会（年11回）・事例検討会（年6回）の開催</li> <li>○総合相談窓口（つながる場）の認知度を高めるため、福祉関係部署以外の区役所職員も含む全体研修会を実施し、問題意識の共有と区役所内の連携強化を図った（R6.3）</li> <li>○保健師が保育園、幼稚園等や家庭を訪問し、健康教育や子育て相談、生活習慣を身につけるための絵本を配付する4歳児訪問事業で、4歳児全児童の状況把握に努めた【継続実施】 絵本配布数 1,022冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉専門職などと連携したアウトリーチの強化</li> <li>○様々な相談窓口の周知（高齢者、子育て支援、障がい者自立支援、生活困窮者など）</li> <li>○北区地域子育て連絡会へ参画いただく組織等を増やし、一層の連携を図る必要がある。</li> </ul>

北区地域福祉計画 令和5年度の成果と今後の課題

取り組みの柱  <h2 style="text-align: center;">2. “きめの細かい” 相談・支援の充実</h2>	将来イメージ ・包括的な相談支援体制が進められている。 ・区内で福祉的な活動が増えている。 ・虐待防止や判断能力が不十分な人への対応が進んでいる。 ・子育て世帯や子ども・青少年が暮らしやすい取り組みが進んでいる。
---	--

<b>②安心して暮らすことのできる支援の充実</b>	取り組み主体	・北区役所・北区社会福祉協議会
----------------------------	--------	-----------------

第2期計画の主な取り組み	成果		課題と方向性
	令和4年度		令和4年度
	令和5年度		令和5年度
<p>・住民同士の助け合い、支え合いができる福祉コミュニティづくりを継続して進める</p> <p>・区民のさまざまなつながりによるサロン活動等の支援を通じた相談しやすい環境づくり</p> <p>・ふれあい喫茶等の小地域福祉活動や健康増進活動への支援等を通じた介護予防の充実</p> <p>・在宅で要介護者、障がい者（児）を介護・介助している人が地域とのつながりを継続できるよう、相談支援機関や事業者等と連携し、相談支援の充実を図る</p> <p>・障がいに関する専門機関との連携を強化し、障がい者（児）とその家族への相談・支援を充実</p> <p>・さまざまな課題を抱える人の自立を促していくために、当事者の自発的・自主的な活動を支援するとともに、地域において参加できる場づくりを進める</p> <p>・認知症相談窓口の周知により早期発見・早期対応を進める。また、認知症に関する正しい知識の普及・啓発等により住民自らの認知症予防の取り組みを継続して進める</p> <p>・地域のさまざまな取り組みや相談窓口等の情報を、マンション等と連携し周知・広報に取り組む</p>	<p>○まちともサービスによる生活支援の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちともサポーター養成講座の実施</li> <li>・区広報誌への定期的な記事の掲載</li> <li>・北区転入者向け配布資料にチラシを入れるなどの事業周知</li> <li>・地域福祉活動推進事業や啓発物品を活用した事業周知</li> </ul> <p>○まちともサービス（令和3年12月末時点） 相談件数 5,365件、利用会員数 145名、サポート会員数 84名 利用回数 481回、サポート会員養成講座 0回</p> <p>○北区主任児童委員連絡会において、「児童虐待とその対応について」の研修会を実施し、虐待実態と日頃の活動の中で「気にかける」ポイントや早期発見のための相談・通告の重要性について理解を深めた（R5.1実施）</p> <p>○はつらつ脳活性化事業として、いきいき百歳体操やはつらつ脳活性化教室を実施し、健康増進や認知症予防に努めた。また、コロナ禍の中、いきいき百歳体操は2部制やスペースを確保するなど継続実施した</p> <p>○障がい者の社会参加と自立促進を目的に、障がい者支援事業所で作成された生地加工品（マスクチャーム・キーホルダーなど）の販売を区役所敷地内で実施し就労系障がい福祉サービスの周知を図った。</p> <p>○援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう「ヘルプマーク」を配布</p> <p>○北区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会（にこリンク）において、認知症の区民向け講演会「認知症と自動車運転」を実施。また若年性認知症の周知・早期発見のためのリーフレット「若年性認知症を知っていますか？」を作成し、区民、関係機関に配布し周知した</p> <p>○区の広報紙で、子育て支援マップを掲載し、身近にある頼れる場所やさまざまな相談先の周知を図った</p> <p>○区の広報紙で、地域担当保健師を紹介し、顔の見える関係づくりに努めた</p> <p>○北区広報紙9月号において「高齢者福祉月間」の特集を組み、百歳体操や高齢者の認知症予防や虐待防止に関する周知を行った</p>	<p>○企業等の社会貢献・地域貢献活動と地域福祉の推進をめざした公民連携の充実</p> <p>○企業等への呼びかけ</p> <p>○高齢者の健康増進を目的とした介護予防や福祉の相談支援の充実</p> <p>○サポーター養成講座の開催の継続</p> <p>○認知症になっても地域で安心して暮らしていける認知症ケアの流れの周知</p> <p>○広報紙、イベント等での情報発信</p>	
		<p><b>令和4年6月 付帯決議</b>                  社会的孤立を少しでも解消するためには、行政や福祉施設・専門機関等の多職種連携と、公助（行政・専門職）と地域住民の皆さんが連携協働して取り組む地域協働を進めること</p>	
取り組み目標	<p>○まちともサポーター養成講座の実施、区広報誌への定期的な記事の掲載、北区転入者向け配布資料にチラシを入れるなどの事業周知、地域福祉活動推進事業や啓発物品を活用した事業周知を実施</p> <p>まちともサービス（R6年3月末）相談件数 12,731件、利用会員数 186名、サポート会員数 97名利用回数 1,451回、サポート会員養成講座 7回</p> <p>○民生委員児童委員協議会の児童委員活動推進部会にて、「HSC（繊細な子ども、人一倍敏感な子ども）」をテーマに講演を行い、問題点等の情報共有を図った（R5.7）</p> <p>○民生委員児童委員協議会の地域福祉推進部会にて、「高齢者の支援者向け見守り講座」として消費者トラブルから高齢者を守るをテーマに講演を行い、問題点等の情報共有を図った（R5.8）</p> <p>○北区主任児童委員連絡会において、「児童虐待」をテーマとして研修会を実施し、北区の児童虐待の状況や子どもの権利条約4つの原則などを学び、当該ケースの対応や相談窓口等について理解を深めた（R6.3）</p> <p>○はつらつ脳活性化事業として、いきいき百歳体操やはつらつ脳活性化教室を実施し、健康増進や認知症予防に努めた。また、コロナ禍の中、いきいき百歳体操は2部制やスペースを確保するなど継続実施した</p> <p>○どこでも気軽にできるシニア向け体操 北ワハハ体操体験会の実施（2回）</p> <p>○障がい者の社会参加と自立促進を目的に、障がい者支援事業所で作成された生地加工品（マスクチャーム・キーホルダーなど）の販売を区役所敷地内で実施し就労系障がい福祉サービスの周知を図った</p> <p>○援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう「ヘルプマーク」を配布</p> <p>○北区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会（にこリンク）において、認知症の区民向け講演会「認知症高齢者の家族支援について」を実施した。</p> <p>○区の広報紙で、子育て支援マップを掲載し、身近にある頼れる場所やさまざまな相談先の周知を図った【継続実施】</p> <p>○発達障がいや不登校、日本語指導が必要などの課題解決に向けた環境支援の役割を担う学校活動有償ボランティア派遣事業の実施を小学校で行う。【R3年11校、R4年11校、R5年11校】</p> <p>○地域福祉コーディネーターと協働し、分譲マンションへの定期的なアプローチおよび情報提供（年3回×14ヶ所）</p> <p>○大阪市マンション管理支援機構と協働し、「マンション支援勉強会」を開催した。</p> <p>○分譲マンションなど、集合住宅における居場所づくりの支援およびヒアリングを実施した。（居場所づくり支援：2件、ヒアリング調査対象：1件）</p>	<p>○企業等の社会貢献・地域貢献活動と地域福祉の推進をめざした公民連携の充実</p> <p>○企業等への呼びかけ</p> <p>○高齢者の健康増進を目的とした介護予防や福祉の相談支援の充実</p> <p>○サポーター養成講座の開催の継続</p> <p>○認知症になっても地域で安心して暮らしていける認知症ケアの流れの周知</p> <p>○広報紙、イベント等での情報発信</p>	

北区地域福祉計画 令和5年度の成果と今後の課題

<p>取り組みの柱</p> <h2 style="text-align: center;">2. “きめの細かい” 相談・支援の充実</h2>	<p>将来イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的な相談支援体制が進められている。</li> <li>・区内で福祉的な活動が増えている。</li> <li>・虐待防止や判断能力が不十分な人への対応が進んでいる。</li> <li>・子育て世帯や子ども・青少年が暮らしやすい取り組みが進んでいる。</li> </ul>
---	--

③虐待防止と権利擁護支援の強化		取り組み主体	成果	課題と方向性
		・北区役所・北区社会福祉協議会	令和4年度 令和5年度	令和4年度 令和5年度
<p>第2期計画の主な取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや高齢者、障がい者等に対する虐待の早期発見に向けた啓発に取り組む</li> <li>・関係機関が連携して支援できるネットワークづくりを進める</li> <li>・成年後見制度や日常生活自立支援事業の周知と利用促進を図る</li> <li>・消費者被害等を未然に防止するため、警察や関係機関等と連携し、効果的かつ適切な情報提供や啓発に努める</li> </ul>		<p>◆企業等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくり支援事業の展開</li> <li>・児童虐待防止と里親制度の啓発イベントを実施</li> <li>・各種イベント等で里親相談会の実施</li> </ul> <p>◆福祉教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校で体験学習を実施し障がい者理解を深めた</li> <li>・児童虐待対策学習会を開催</li> </ul> <p>○新規開設保育施設職員を対象に、「大阪市北区における要保護児童対策地域協議会のしくみと保育園の役割」を開催し、北区の子育て支援事業の周知や虐待対応の基礎知識の啓発を行った【継続実施】（R4.8実施）</p> <p>○要保護児童対策地域協議会代表者会議において、「区における児童虐待対応マニュアルの改訂内容・通告のルール～DV対応と連携、ヤングケアラーの支援～」について研修会を実施し、時代の変化に対応した正しい知識の共有に努めた（R4.8実施）</p> <p>○北区主任児童委員連絡会において、「児童虐待とその対応について」の研修会を実施し、虐待実態と日頃の活動の中で「気にかける」ポイントや早期発見のための相談・通告の重要性について理解を深めた（R5.1実施）</p> <p>○北区SSWにより、教職員向けに「福祉的視点から保護者対応について考える」を実施し、児童虐待の実態について理解を深めた（R5.2,3実施）</p> <p>○区の広報紙で児童虐待防止の啓発と子育てに関するさまざまな相談先の周知を図った【継続実施】</p> <p>○障がい者の社会参加と自立促進を目的に、障がい者支援事業所で作成された生地加工品（マスクチャーム・キーホルダーなど）の販売を区役所敷地内で実施し就労系障がい福祉サービスの周知を図った</p> <p>○民生委員児童委員協議会の児童委員活動推進部会において、「ヤングケアラー」をテーマにした講演や総合相談窓口を取り扱った講演を行い、問題点等の情報共有を図った</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報紙、SNS等での情報発信の検討・実施</li> <li>○知識の向上、事業の啓発</li> <li>○見守りの目の強化</li> <li>○関係機関が連携して支援できるネットワークづくりの充実</li> <li>○住民主体による見守り体制の強化</li> </ul>
				<p>令和4年6月 付帯決議</p> <p>社会的孤立を少しでも解消するためには、行政や福祉施設・専門機関等の多職種連携と、公助（行政・専門職）と地域住民の皆さんが連携協働して取り組む地域協働を進めること</p>
<p>取り組み目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや高齢者、障がい者等に対する見守り手法の構築</li> <li>・警察や関係機関と連携した啓発及び手法の検討</li> <li>・虐待の未然防止や早期発見のための相談・通報体制の推進</li> </ul>		<p>◆企業、各種団体等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくりを展開（区：継続2か所 局：新規2か所）</li> <li>・警察や関係機関と連携した啓発及び手法の検討</li> <li>・警察との学習会「大淀エリア地域福祉コーディネーター連絡会」大淀警察署と大淀エリア地域福祉コーディネーターとの情報交換</li> <li>・見守り相談室 出張相談会（特殊詐欺）</li> </ul> <p>◆福祉教育の実施 ◆虐待の未然防止や早期発見のための相談・通報体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校で体験学習を実施し障がい者理解を深めた</li> <li>○保育施設職員を対象に、「子ども虐待の現状と対応」を開催し、虐待対応にかかる認識の共有化を図った</li> <li>○要保護児童対策地域協議会代表者会議において、「児童の権利擁護～子ども権利条約の視点」について研修会を実施し、時代の変化に対応した正しい知識の共有に努めた（R5.8実施）</li> <li>○北区主任児童委員連絡会において、「児童虐待」をテーマとして研修会を実施し、北区の児童虐待の状況や子どもの権利条約4つの原則などを学び、当該ケースの対応や相談窓口等について理解を深めた（R6.3）</li> <li>○区の広報紙で児童虐待防止の啓発と子育てに関するさまざまな相談先の周知を図った【継続実施】</li> <li>○民生委員児童委員協議会の地域福祉推進部会にて、「高齢者の支援者向け見守り講座」として消費者トラブルから高齢者を守るをテーマに講演を行い、問題点等の情報共有を図った（R5.8）</li> <li>○北区認知症高齢者支援ネットワーク事業勉強会において、認知症について「認知症ってなあに？」（DVD）を題材に活発な意見交換を行い理解を深めた（R6.2）</li> <li>○虐待防止連絡会において虐待の研修会を実施（R5.12.14）区民への虐待防止にかかる啓発を広報紙において9月号（高齢者虐待）12月号（障がい者虐待）で相談窓口等を周知。デジタルサイネージを利用し区役所1階待合ロビーの来庁者に啓発を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報紙、SNS等での情報発信の検討・実施</li> <li>○知識の向上、事業の啓発</li> <li>○見守りの目の強化</li> <li>○関係機関が連携して支援できるネットワークづくりの充実</li> <li>○住民主体による見守り体制の強化</li> </ul>

北区地域福祉計画 令和5年度の成果と今後の課題

取り組みの柱  <h2 style="text-align: center;">2. “きめの細かい” 相談・支援の充実</h2>	将来イメージ <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的な相談支援体制が進められている。</li> <li>・区内で福祉的な活動が増えている。</li> <li>・虐待防止や判断能力が不十分な人への対応が進んでいる。</li> <li>・子育て世帯や子ども・青少年が暮らしやすい取り組みが進んでいる。</li> </ul>
---	--

<b>④子ども、青少年が健やかに育つための支援の充実</b>	取り組み主体	・北区役所・北区社会福祉協議会
--------------------------------	--------	-----------------

第2期計画の主な取り組み	成果	課題と方向性
	令和4年度 令和5年度	令和4年度 令和5年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の保護者が孤立することなく、安心して子どもを産み育てられる地域での取り組みを支援</li> <li>・支援の必要な子どもや世帯を適切な機関と連携し支援する</li> <li>・子育てに関するさまざまな制度や取り組みの充実と情報発信を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母親の心身のケアや育児をサポートし、産後の安心して子育てができる支援体制の確保として産後ケアの利用を積極的に勧めた</li> <li>○保健師が保育園、幼稚園等や家庭を訪問し、健康教育や子育て相談、生活習慣を身につけるための絵本を配付する4歳児訪問事業で、4歳児全児童の状況把握に努めた 絵本配布数 997冊</li> <li>○S S Wを配置し不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりを充実した【継続配置】 配置4名計60時間/週 支援のべ児童生徒数 1,667人(小学校 1,051人、中学校 616人)</li> <li>○「重大な児童虐待ゼロ」をめざし、プレスクールワーカーによる保育施設へのアウトリーチ事業を実施し、施設職員が抱える課題や悩みに対し、アドバイスをを行うことで施設職員のスキルアップを図った【継続実施】 相談件数345件 園内研修16回</li> <li>○北区役所ホームページにおいて、「子育て支援情報」を定期的に更新し、子育てに関するさまざまな情報の周知を図った【新規実施】</li> <li>○地域SNSアプリ「ピアッザ」を活用した情報発信(週1回定期的に更新)【継続実施】</li> <li>○福祉課窓口に来所された方に対し子育てマップや子育て支援室の周知を行った【継続実施】</li> <li>○5か国語からなる子育て応援ハンドブック(区社協作成)を日本語が読めない外国籍住民や地域会館、保育所などに配布を行い、子育て支援情報の拡大を図った【継続実施】</li> <li>○保育フェア2022を区ホームページに常設し、保育施設情報・申込み方法等の周知を図った。また、保育園開放日の周知を区役所内でも行い親子で気軽に保育園を体験できるアナウンスを行った。</li> <li>○保育施設の空き情報の更新、保育園の新設、保育園開放日、6か月未満児の預かり開始などについて情報発信を行った</li> <li>○保育施設の令和5年4月新規開設(保育園3施設、認定こども園移行1施設、地域型保育事業1施設)の利用調整を行った</li> <li>○「里親パネル展&amp;里親相談会」を開催し、「里親制度」についての啓発に努めた【再開事業】 (R5.2実施)</li> <li>○こども110番運動に継続的に取り組んだ。これまでの自転車ひたくり防止カバー、車両用ステッカー、缶バッチに加えエコバックの無料配布を企業と連携し実施した。【継続実施】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産後ケアの必要な妊産婦へ積極的な周知</li> <li>○S S Wとプレスクールワーカーの継続配置を行い、学校や子どもの課題に対する早期発見による支援の充実</li> <li>○広報紙、SNS等での情報発信の充実</li> <li>○新たな福祉ニーズに応じた取り組みの推進</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>令和4年6月 付帯決議</b>                      社会的孤立を少しでも解消するためには、行政や福祉施設・専門機関等の多職種連携と、公助(行政・専門職)と地域住民の皆さんが連携協働して取り組む地域協働を進めること</p> </div>
取り組み目標  <ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児訪問事業の継続</li> <li>・SNSを活用した子育て世代向けイベントの開催</li> <li>・スクールソーシャルワーカーと学校の連携強化</li> <li>・プレスクールワーカーと保育施設の連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健師が保育園、幼稚園等や家庭を訪問し、健康教育や子育て相談、生活習慣を身につけるための絵本を配付する4歳児訪問事業で、4歳児全児童の状況把握に努めた【継続実施】 絵本配布数 1,022冊</li> <li>○S S Wを配置し不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりを充実した 配置4名計94時間/週 支援のべ児童生徒数 1,186人(小学校 702人、中学校 484人)</li> <li>○「重大な児童虐待ゼロ」をめざし、プレスクールワーカーによる保育施設へのアウトリーチ事業を実施し、施設職員が抱える課題や悩みに対し、アドバイスをを行うことで施設職員のスキルアップを図った【継続実施】 相談件数 419件 園内研修 23回</li> <li>○北区役所ホームページにおいて、「子育て支援情報」を定期的に更新し、子育てに関するさまざまな情報の周知を図った【継続実施】</li> <li>○地域SNSアプリ「ピアッザ」を活用した情報発信(週1回定期的に更新)【継続実施】</li> <li>○福祉課窓口に来所された方に対し子育てマップや子育て支援室の周知を行った【継続実施】</li> <li>○5か国語からなる子育て応援ハンドブック(区社協作成)を日本語が読めない外国籍住民や地域会館、保育所などに配布を行い、子育て支援情報の拡大を図った【継続実施】</li> <li>○保育フェア2023を区ホームページに常設し、保育施設情報・申込方法等の周知を図った。また「保育ミニ講座」を実施し、保育施設情報・申込方法等について、講座形式で区民の方へ情報提供を行った。</li> <li>○保育施設の途中入所の勧奨、保育園の新設、6ヵ月未満児の預かり開始などについて情報発信を行った 保育施設新規開設：令和5年10月新規開設(地域型保育事業1施設)</li> <li>○「里親パネル展&amp;里親相談会」を開催し、「里親制度」についての啓発に努めた【継続事業】 (R6.1実施)</li> <li>○区内の大阪市立幼稚園、小学校及び中学校に学校活動有償ボランティアを派遣することにより、発達障がいや不登校、日本語指導が必要ななど、様々な理由により学校活動における支援を必要とする子ども達の増加に伴い発生する学校園の異なる課題の解決に向けた環境支援を図った。 【令和4年度 16校園、令和5年度 14校園】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動総合ポータルサイトを活用した学校活動有償ボランティア派遣事業の情報発信</li> <li>○広報誌、SNS等での情報発信の充実</li> </ul>